

NPO採用 新卒に照準

大学の新卒学生を採用するNPO（非営利組織）の法人が増えている。従来は新人を教育する人的、財政的な余裕がなく、経験者採用がほとんどだったが、近年は事業が安定し、数年後を見据えた組織づくりのできる団体も始まった。東日本大震災後のボランティアをきっかけに関心を持つ学生も増えており、団体への就職を支援するNPO法人「NPOサポートセンター」が22日、東京都立産業貿易センター（港区）で合同説明会を開く。

【水戸健一、写真も】

22日都内で合同説明会



NPO法人で働くこのやりがい
を語る下川原彩さん（川崎市で

震災で活動 学生の興味刺激

下川原彩さん(26)は、法人「フローレンス」3年前、大学を卒業し（千代田区）は今年か認定NPO法人「キーパーソン21」（川崎市）に就職した。小中高校生向けのキャリア教育を推進するため、学校と企業の調整を担当する。就職活動では「ソーシャルベンチャー」のある人材が「精神」と期待する。食品メーカーから内定を得たが、活動に参加した経験があったキーパーソン21の代表に声をかけられ、就職を決めた。メンバーが少なく、理事会の資料作りや寄付者への対応もこなすが「子供にさまざまな働き方を伝えることができる」と話す。

訪問型病児保育事業などをする認定NPO法人「フローレンス」(千代田区)は今年から、来春卒業予定の学生を対象に事務職の採用活動を始めた。担当の井上真梨子さんは「社会問題に切り込む『ソーシャルベンチャー』のある人材が『精神』と期待する。食品メーカーから内定を得たが、活動に参加した経験があったキーパーソン21の代表に声をかけられ、就職を決めた。メンバーが少なく、理事会の資料作りや寄付者への対応もこなすが「子供にさまざまな働き方を伝えることができる」と話す。

訪問型病児保育事業などをする認定NPO法人「フローレンス」(千代田区)は今年から、来春卒業予定の学生を対象に事務職の採用活動を始めた。担当の井上真梨子さんは「社会問題に切り込む『ソーシャルベンチャー』のある人材が『精神』と期待する。食品メーカーから内定を得たが、活動に参加した経験があったキーパーソン21の代表に声をかけられ、就職を決めた。メンバーが少なく、理事会の資料作りや寄付者への対応もこなすが「子供にさまざまな働き方を伝えることができる」と話す。

訪問型病児保育事業などをする認定NPO法人「フローレンス」(千代田区)は今年から、来春卒業予定の学生を対象に事務職の採用活動を始めた。担当の井上真梨子さんは「社会問題に切り込む『ソーシャルベンチャー』のある人材が『精神』と期待する。食品メーカーから内定を得たが、活動に参加した経験があったキーパーソン21の代表に声をかけられ、就職を決めた。メンバーが少なく、理事会の資料作りや寄付者への対応もこなすが「子供にさまざまな働き方を伝えることができる」と話す。

1(03・3547・3206)。